

夢見るアスリート★ Vol. 9

このコーナーは日本のトップレベルで奮闘する稚内市関連のアスリートを紹介するコーナーです。第9回目は遠軽高校野球部に所属し、主将を務めている稲川蒼梧さんです。

「常に目標を持ち、成功している自分を想像する」



いな かわ そう ご
稲川 蒼梧
(遠軽高等学校3年生)

稚内野球スポーツ少年団→旭川西シニア→現在：遠軽高等学校野球部
ポジション：サード

- Q 野球を始めた年齢とキッカケは？
A 9歳の小学3年生から始めました。親が野球好きでやってみたくて思ったからです。
- Q 野球をしていて楽しいのはどのような時？
A 仲間と切磋琢磨するところです。
- Q 自分のストロングポイントは？
A 長打力と仲間に元気を分けれるところです。デッドリフト210kg上げられます。
※デッドリフト→床に置かれたバーベルを腰の高さまで上げる筋トレ
- Q 試合前や生活のルーティーンは？
A 北島三郎さんの「まつり」を聞くことです。
- Q 今まで野球をしてきて1番の楽しい思い出は？
A 高校2年生の秋季大会地区予選でレギュラーナンバーを貰い4番サードでスタメン出場しチャンスの場面でタイムリーヒットを打てたことです。
- Q 今まで野球をしてきて1番の悔しい思い出は？
A 高校2年生の全道北大会でベンチ入りした試合です。あと一歩のところまで敗戦してしまい3年生との夏が終わってしまったのがとても悔しかったです。

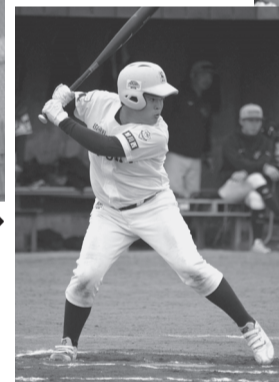


稚内野球スポーツ少年団時代

- Q 憧れのアスリートや尊敬している人は？なぜ、憧れているのでしょうか？
A メジャーリーガーの吉田正尚選手です。スイングがとても綺麗なため見本にしています。
- Q 休日の過ごし方は？
A 釣りや野球をしています。長期のオフで実家に帰った時には釣りに行く事が多いです。
- Q 野球が上手くなる為に心掛けていることは？
A 常に目標を持ち、成功している自分を想像することです。
- Q 指導者に言われて印象に残っている言葉は？
A お前はできる!! 変わる!!
球道即人道 ※意味→野球の道は、すなわち人の道そのもの
- Q 稚内を離れて生活することで一番苦労したことは？
A 親が作ってくれる美味しいご飯が食べられない事です。
- Q 今年の目標と今後の目標は？
A 甲子園出場！木製バットで場外弾を打てるようになる！
- Q 今後どのような選手になりたいですか？
A チームメイトの先頭に立ってチームを引っ張り、場を盛り上げられる選手になります。
- Q 稚内の子供たちへメッセージをお願いします。
A 自分の好きなことを貫け！



↑旭川西シニア時代→



↑稚内野球スポーツ少年団時代

好きなもの 一問一答

- ・食べ物…カツカレー
- ・漫画…特になし
- ・歌手と歌…ブルーハーツ「歩く花」
北島三郎「まつり」「北の漁場」
- ・映画…ワイルドスピード スーパーコンボ
- ・スポーツ(野球以外)…バスケットボール
- ・言葉…今夢を諦めた人は、次に何を諦めるだろう
- ・芸能人…チョコレートプラネット(お笑い芸人)
- ・キャラクター…スポンジボブ
- ・TV番組またはYouTube…鉄腕DASH

スポーツ少年団?リーダー?って何だろう?

3月14日に稚内市少年自然の家で、スポーツ少年団リーダーの資質向上を図ることを目的とした「稚内市スポーツ少年団ジュニア・リーダーズスクール」を開催しました。

小学5年生から中学2年生までのスポーツ少年団員18名が参加して、講義や雪中レクリエーション、創作活動の肉まん作りやミサンガ作りを行いました。

講義では「スポーツ少年団とは?」「スポーツ少年団のリーダーとは?」をテーマに、スポーツ少年団を通して運動能力や技術だけでなく、礼儀や協力する心、思いやりを育てる大切な活動であることや、リーダーとは周りをよく見て仲間を支え、みんなが安心して活動できるような存在であることだと学びました。

創作活動のミサンガ作りでは7色の糸を順番に編み込んでいきカラフルなミサンガを完成させて、さっそく手首や足首に巻いていました。

肉まん作りでは生地作りや具材のカットなどを2人1組で相談しながら協力して美味しい肉まんを完成させてアツアツのうちに頬張っていました。

参加した団員たちは、それぞれのスポーツ少年団活動の場で今回の学びを生かして、今後さらなる成長と活躍が期待されます。

